

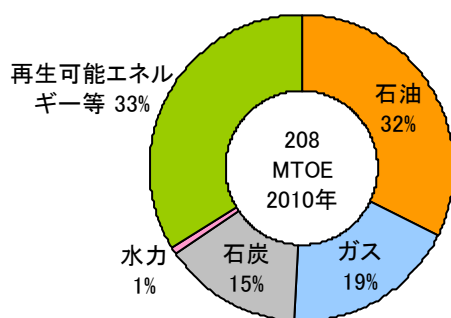
1-7 インドネシア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 207.8 百万 TOE (日本の 0.45 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.87TOE (日本の 0.24 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 184%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 410.94CO₂ 換算百万 ton (日本の 36.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量(2010年) : 1.71CO₂ 換算百万 ton(日本の 19.1%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 11.8 年、天然ガス 39.2 年、石炭 17 年

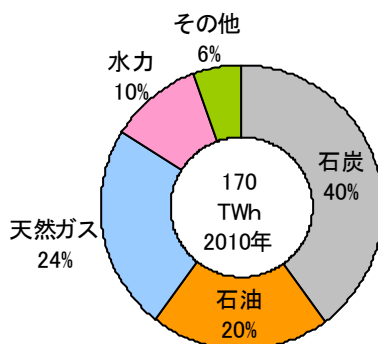
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Indonesia

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Indonesia

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー政策の策定・実行は、2007年7月に成立した新エネルギー法により設立が認められた「国家エネルギー委員会 (National Energy Council : DEWAN Energi Nasional : DEN)」が行っている。委員長は大統領が務め委員は15名、内訳は7名が閣僚、8名は産業界の代表や学識経験者からなる。エネルギー行政は、エネルギー鉱物資源省 (Ministry of Energy and Mineral Resources : ESDM) が所管している。

(2) 基本政策

- 2004年の「General Energy Policy (KUBE)」において、エネルギー供給の基本方針が打ち出されている。次いで、大統領令 2006年第5号「National Energy Policy」において、2025年までの長期エネルギー戦略を掲げ、石油消費のシェアを20%以下に抑え、石炭消費のシェアを33%以上、天然ガス消費のシェアを30%以上、新・再生可能エネルギーのシェア17%以上 (バイオ燃料5%以上、地熱5%以上、その他7%以上) を目標としている。

(3) 最近の動向

- 石油・天然ガスの国内生産量の頭打ち、並びに国内の需要増で、資源輸出の取扱いがインドネシアの大きな問題となっている。エネルギー鉱物資源省副大臣が2012年1月に、原油輸出停止の検討中、との報道がなされ、インドネシアから原油を輸入している国に衝撃を与えたが、同省より報道に対する否定のコメントが発表され、事なきを得るといふ事態状況が発生している。
- インドネシアは石油製品の一部 (軽油、88RON ガソリン、灯油、LPG 家庭用 3kg ボンベ) の末端価格を抑えるために補助金を出している。最近の原油価格高騰により補助金支給額が国家予算を大幅に上回るため、末端金額の値上げや補助金対象製品の削減等により補助金を減らす方向で検討しているが、なかなか実行に至っていない。
- 2012年11月、インドネシア憲法裁判所 (Constitutional Court) は石油・ガスの上流監督機関 BP Migas はインドネシア憲法第33条に抵触している、との判決で同機関の解散を命じた。この判決を受け、直ちに Yudhoyono 大統領は BP Migas に替わる新しい機関を設立すること、現行 BP Migas と締結されている PSC は契約期間満了まで有効であることを発表。憲法裁判所も契約の有効性は認めている。また、政府は新しい機関が設立されるまで、BP Migas の機能を引き継ぐ暫定的な部署としてエネルギー鉱物資源省内に SKSP Migas を設置している。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2011年のインドネシアからの日本の輸入量は、LNG934.3万 ton (シェア11.9%、第4位)、原油663.2万 K1 (シェア3.2%、第7位、中東を除きシェア第2位)、ナフサ22.1万 K1、B・C重油139.8万 K1 (シェア25.9% 第2位) となっており、日本はインドネシアにとって最大の原油輸出先となっている。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	207.8	MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.87	T0E/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.55	T0E/千\$
(4)	エネルギー自給率	184	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	410.94	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	1.71	CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	14.7	%
	石油	32.2	%
	ガス	18.7	%
	原子力	0.0	%
	水力	0.7	%
	再生可能エネルギー等	33.7	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-840	%
(9)	石油の輸入依存度	28.0	%
(10)	輸入原油の中東依存度(2011年)	-	%
(11)	原油輸入先(2011年)	第1位	-
		第2位	-
		第3位	-

(出所) (1)~(4) および (7)~(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)~(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012

(10)~(11) は Blackwell, World Oil Trade : An Annual Analysis and Statistical Review of International Oil Movements, September 2012